

ひょうごらくのうメモ

4

2025APR



表紙：『姫路城とさくら』 春の散歩に立ち寄りました・・・S.K

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター3階

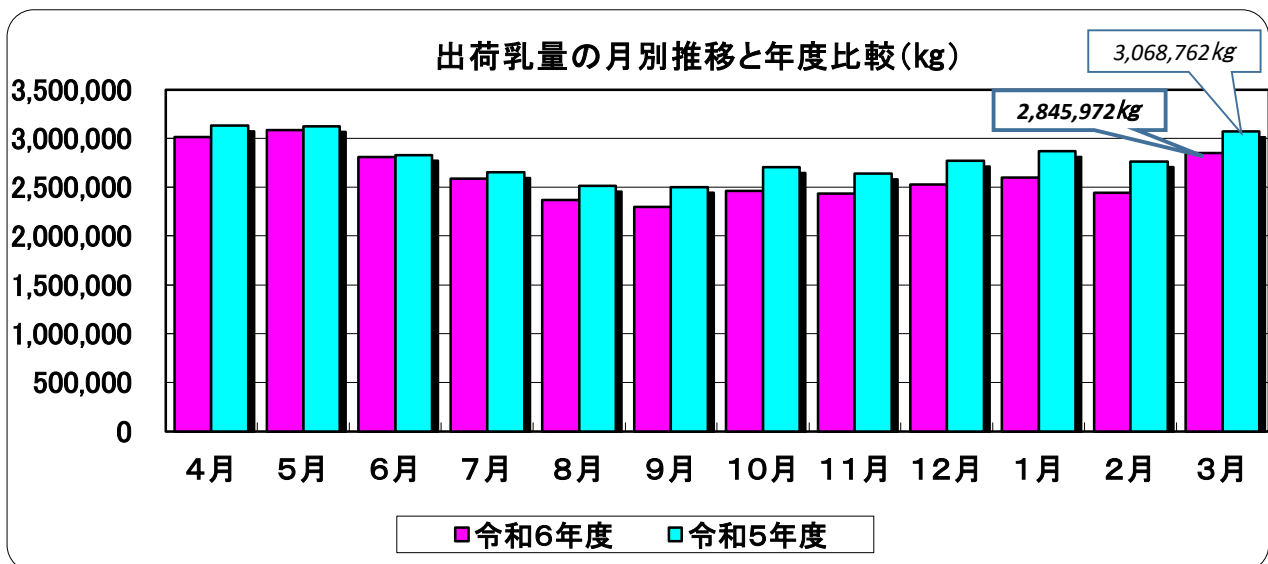
生乳生産統計

1. 全国(令和7年2月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	6年	4月	635.0	101.1
令和	6年	5月	655.6	101.0
令和	6年	6月	616.3	99.5
令和	6年	7月	606.5	98.3
令和	6年	8月	592.0	100.3
令和	6年	9月	579.3	101.0
令和	6年	10月	606.1	101.4
令和	6年	11月	589.0	101.8
令和	6年	12月	616.3	101.2
令和	7年	1月	632.2	101.9
令和	7年	2月	583.3	98.2
令和	7年	3月		
令和	6年度	累計	6,711.9	100.5

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 7年3月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	482,909	87.9	5,637,736	90.3	16
播州地区	354,540	95.5	3,993,482	94.3	15
丹但地区	263,214	96.8	2,864,674	90.1	12
淡路地区	1,745,309	93.0	18,991,224	95.4	67
合 計	2,845,972	92.7	31,487,116	93.8	110



理事会報告

令和7年3月27日(木)、第7回理事会をWEB形式により理事5名、監事2名の出席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和6年度生乳計画生産進捗状況、令和6年度12月・1月起点限定決算、2月1日時点の戸数・頭数調査結果、令和6年度組合員の異動状況について報告し、次の事項について協議した。

- ① 乳用雌牛導入・自家生産助成実施要領の承認について
令和6年度に引き続き自家生産雌牛に対しでの助成事業、加えて乳用雌牛導入(管内廃業農家からの雌牛導入に対しての助成を行う為の実施要領を承認した。
- ② 高品質生乳生産対策実施要領の一部改正について
近畿生乳販連からの要領変更に合わせて当組合の実施要領の一部改正を承認した。
- ③ インボイス対応酪農システムの改修について
次年度4月乳代精算にあわせインボイス関連項目のシステム改修の実施を承認した。
- ④ パスマルク奨励金の取扱いについて
乳業から受ける指定奨励金の取扱いを経理仕向けに沿った内容に変更承認した。
- ⑤ 第10回通常総会の開催日程について
通常総会の開催日程を6月26日と決定し、総会までのスケジュールを協議した。
(地区別懇談会・淡路地区6月10日(火)・本州側6月12日(木))

その他の事項として、・4月理事会、・全共視察・応援参加者募集とりまとめの実施等を話し合い調整した。

◆ 主な行事予定 ◆

4月

22日 淡路ミルククラブ総会(淡路島)

23日 第1回理事会(西区)

第21回南あわじ市「食」まつり・畜産共進会
実行委員会事務局打合せ(市役所)

5月

1日 職員会議(WEB)

9日 2025年酪農共済事務研修会(東京)

15日 日本ホルスタイン登録協会・社員選挙

20日 全国酪農協会・第1回役員候補者
推薦委員会(WEB)

22日 令和7年度女性部通常総会(廣東餃子房)

23日 令和7年度南あわじ市農業振興協議会総会
(サンライズ淡路)

27日 近畿生乳販連販売委員会・理事会(WEB)

参考情報

淡路家畜市場情報

令和7年3月第2金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	11	135,000	223,300	26,400			58
前回	15	123,273		213,400	22,000			56	11,727	9.5%	
前年	14	65,529		104,500	8,800			58	69,471	106.0%	
オス	今回	16	160,738	228,800	1,100			57			
	前回	16	137,981	223,300	6,600			56	22,757	16.5%	
	前年	9	113,178	147,400	61,600			57	47,560	42.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	2	24,200	27,500	20,900			51			
	前回	1	22,000	22,000	22,000			59	2,200	10.0%	
	前年										
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和7年2月第4金曜日・前年は令和6年3月第2金曜日

令和7年3月第4金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	12	106,150	176,000	33,000			56
前回	11	135,000		223,300	26,400			58	-28,850	-21.4%	
前年	15	82,060		122,100	34,100			54	24,090	29.4%	
オス	今回	14	137,579	222,200	77,000			55			
	前回	16	160,738	228,800	1,100			57	-23,159	-14.4%	
	前年	24	91,667	165,000	26,400			51	45,912	50.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	1	22,000	22,000	22,000			51			
	前回	2	24,200	27,500	20,900			51	-2,200	-9.1%	
	前年	2	18,700	22,000	15,400			50	3,300	17.6%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和7年3月第2金曜日・前年は令和6年3月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669	
6年次	33,585	464	32,402	1,042	32,296	50	47,081	65,478	
6	1	30,056	34	38,463	90	取引なし	46,203	5,796	
	2	33,259	34	33,658	92	14,300	4	46,549	5,562
	3	36,770	49	29,348	103	31,625	4	50,541	5,500
	4	42,848	42	34,354	78	41,800	3	64,268	5,843
	5	45,385	27	39,921	87	71,989	9	89,493	4,627
	6	62,924	54	63,092	59	75,900	3	128,836	4,102
	7	72,515	13	66,370	64	42,460	5	77,057	5,333
	8	40,288	40	38,341	86	取引なし	4	21,444	5,951
	9	20,618	39	22,641	92	10,560	5	16,885	5,533
	10	10,310	51	13,786	115	4,840	5	16,303	6,355
	11	15,636	42	18,724	79	2,200	1	18,892	5,502
	12	17,064	39	16,637	97	7,071	7	22,413	5,374
7	1	16,067	33	20,782	84	取引なし	5	27,344	5,796
	2	23,257	35	24,903	76	1,100	1	42,173	5,025
	3	29,838	40	30,755	74	16,500	1	68,621	5,487
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638	
6年次	128,605	5,764	133,192	4,175	175,217	1,401	112,269	174,340	
6	1	96,405	549	93,851	244	116,838	139	71,742	15,916
	2	105,955	496	106,128	402	139,177	143	89,564	15,252
	3	124,959	434	118,804	294	172,915	128	107,578	14,641
	4	149,621	580	155,327	325	203,810	117	127,307	14,983
	5	209,525	369	188,358	362	212,019	125	165,311	13,062
	6	243,157	309	233,689	268	236,406	105	207,580	10,699
	7	202,896	390	199,813	270	251,198	83	169,484	13,621
	8	127,372	371	137,538	354	209,105	94	96,371	14,272
	9	110,706	583	127,049	388	169,291	101	87,532	15,289
	10	78,990	627	94,268	492	137,013	104	77,530	17,498
	11	85,004	467	90,266	382	144,203	128	88,472	14,687
	12	105,577	589	105,319	394	162,103	134	105,694	14,420
7	1	113,308	535	120,105	322	187,600	134	112,008	14,837
	2	143,766	573	150,335	324	230,056	120	158,652	13,048
	3	176,271	565	171,449	295	215,955	130	194,356	12,757
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和7年3月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（乳・乳系・他）				初妊牛（乳・乳系・他）				経産牛（乳・乳系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
根室	3/6					322	996	330	687				
豊富	3/7	213	386	3	212								
十勝	3/10					663	1,118	132	691	112	826	171	465
十勝	3/13	634	559	1	279								
北海道	3/14	72	436	13	168	91	906	221	593	30	538	168	415
豊富	3/21					309	804	149	571	7	486	275	359
十勝	3/24					576	1,085	317	693	109	624	110	358
釧路	3/25					275	872	220	620				
北見	3/26					373	854	94	625	9	448	224	347
根室	3/27					380	963	333	665				
合計	10回	919	559	1	255	2,989	1,118	94	657	267	826	110	409
前年同月成績	10回	958	596	3	346	2,839	1,279	198	683	147	724	88	414
前月合計成績	9回	1,180	548	3	244	2,447	1,109	110	628	135	767	160	418

ホクレン乳牛市場開催日程

4月4日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場（佐呂間）育成	5月13日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場（音更）
4月7日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場（大楽毛）育成	5月15日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場（音更）育成
4月14日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場（音更）	5月16日(金)	ホクレン北海道家畜市場（安平）
4月17日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場（音更）育成	5月19日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場（佐呂間）育成
4月18日(金)	ホクレン北海道家畜市場（安平）	5月23日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場（豊富）
4月18日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場（佐呂間）	5月26日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場（佐呂間）
4月23日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場（大楽毛）	5月27日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場（音更）
4月24日(木)	ホクレン根室地区家畜市場（中標津）	5月28日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場（大楽毛）
4月25日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場（豊富）	5月29日(木)	ホクレン根室地区家畜市場（中標津）
4月28日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場（音更）	5月30日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場（豊富）育成

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線3-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-42-2231
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和7年4月1日現在)

専務所	畜種	相場(万円)	価格状況	注
木山 札幌管内	育成牛(6-12月令)	2.8~3.8	横強い	札幌管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、飼育管内月計で103.7%、累計で100.7%、苫小牧管内月計で100.1%、累計で99.2%の増減となっております。4月の初妊牛動向としては、6月中旬~7月分娩中心となります。夏分娩が出回り始め、肉回り資源の増加と種用県からの需要減少により、やや弱含みが見込まれます。腹期の仙登については、F1腹は堅調に推移し、産後選別腹は産後選別状況が異なることから、引き付き高他で推移する見込まれます。当管内での産後選別腹は、高能力牛が多いため、肉回りでも高能力牛と、引き付き高他力牛の2案内が可成りです。
	初妊牛	5.8~6.8	やや弱含み	
	産後牛	4.0~5.0	横強い	
余市 管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	横強い	札幌管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、飼育管内月計で103.6%、累計で101.9%、中標津管内月計で100.9%、累計で101.5%の増減となっております。4月の初妊牛動向としては、6月中旬~7月分娩中心となります。夏分娩が出回り始め、産後選別腹の増大と産後選別腹の産後の産後により、価格は軟調に推移する見込まれます。総産牛動向は4月に産後選別腹が中心となり、産後選別腹が多くなることから、価格帯についてはやや弱含みで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	5.8~6.8	やや弱含み	
	産後牛	3.8~4.8	やや弱含み	
帯広 管内	育成牛(10-12月令)	3.2~4.2	横強い	帯広管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.5%、累計で101.9%の増減となっております。4月の初妊牛動向としては、6月中旬~7月分娩中心となります。夏分娩が中心となり、産後選別腹の増大と産後選別腹の産後の産後により、価格は軟調に推移する見込まれます。総産牛動向は4月に産後選別腹が中心となり、産後選別腹が多くなることから、価格帯についてはやや弱含みで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	5.8~5.8	やや弱含み	
	産後牛	4.5~5.5	横強い	
紋別 管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	横強い	紋別管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、紋別管内月計で99.0%、累計で98.5%、北見管内月計で103.2%、累計で102.5%の増減となっております。4月の初妊牛動向としては、6月中旬~7月分娩中心となります。夏分娩が中心となり、産後選別腹の増大と産後選別腹の産後の産後により、価格は軟調に推移する見込まれます。総産牛動向は4月に産後選別腹が中心となり、産後選別腹が多くなることから、価格帯についてはやや弱含みで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	5.5~5.5	やや弱含み	
	産後牛	3.3~4.8	横強い	
釧路 管内	育成牛(10-12月令)	3.2~4.2	横強い	釧路管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は103.3%、累計で101.3%の増減となっております。4月の初妊牛動向としては、6月中旬~7月分娩中心となります。夏分娩が中心となり、産後選別腹の増大と産後選別腹の産後の産後により、価格は軟調に推移する見込まれます。総産牛動向は4月に産後選別腹が中心となり、産後選別腹が多くなることから、価格帯についてはやや弱含みで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	5.3~6.8	やや弱含み	
	産後牛	4.0~5.0	やや弱含み	

*上記相場は、血流登録牛(中ケラス)の産後選別腹による予想相場です。

産後選別腹の購買のため、市場購買とは異なります。

札幌、乳牛購買事業に不要な産後選別腹を譲り取りお礼申し上げます。
 乳牛の導入計画がございましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
 担当者がお忙しいし、届くの状況をご説明し、お礼いただけるよう購買のお手伝いをさせていただきます。
 また、購買後の輸送・集荷処理は責任を持って最寄りの支所と支所支所にお礼申し上げます。

全国酪農協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

電話 011-241 0765

《各事務所電話番号》
 札幌事務所 電話 011-241-1282
 旭川事務所 電話 011-870-1377
 帯広事務所 電話 011-531-6052
 道北事務所 電話 011-654-2-2308

令和7年4月10日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

北米西海岸を中心とする航路では、本船スケジュールに乱れが生じており、主要な乗継航路を含め、混雑が続いています。2月の中国旧正月による減便が影響し、3月中旬から下旬にかけて米国西岸に到着する本船が少なく、その結果、空コンテナの不足が発生しており、船腹予約にも影響を与えています。

日本国内においては、アジアの主要港で発生している港湾混雑の影響を大きく受けています。悪天候による荷役作業の遅れや、本船スケジュールの度重なる変更もあり、混雑状況が緩和する見通しも立っておらず、一部の船会社は蔵置場所の確保のためにオフドック（本船着岸岸壁から離れた場所）へコンテナを移送しています。

さらに、米国では、トランプ大統領が就任以来、複数の関税措置の発動を表明し、各国と貿易に関する協議を行ってきましたが、4月2日には、貿易相手国に対する相互関税を課すと発表しました。この相互関税の導入により、世界規模での貿易摩擦がさらに激化する可能性が高まっており、今後の経済活動全体に深刻な影響を及ぼリスクも懸念されています。実際、発表後には株式相場が急落するなど、市場も敏感に反応しています。

ビートパルプ

ビートパルプの生産地であるノースダコタ州やミネソタ州では2024—2025年産の生産と製糖作業が終盤を迎えています。生産量は昨秋の温暖な気候の影響により、当初の予想よりも約10%減少する見込みです。この生産減少が、市場の価格や需給に対して、どのような影響を与えるか慎重に見守る必要があります。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンでは、冷涼な気候が続いていますが生育は順調で、5月中旬から南部の圃場で25年産1番刈の収穫作業が開始される見込みです。

産地在庫については輸出向けに適さない品質のアルファルファが僅かに残っていますが、相場低迷により輸出向けと米国内肥育向けの価格差が縮小しているため、多く

が米国内向けに出荷されています。

また、24年産の価格は生産農家にとって魅力的ではなく、他作物に転作した圃場もあったため、25年産の作付面積は10～20%減少すると予想されています。

輸出需要については、日本向けは大きな変化はありませんが、中東向けでは高成分のアルファルファに対する安定した需要が続いています。中国向けは中国経済の低迷により、牛乳需要が減少し乳価が下落したことも相まって、アルファルファの需要も減少しています。

【カリフォルニア州】

カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、2025年産のアルファルファ1番刈りの収穫が大半の圃場で終了しており、2番刈りの収穫が開始されています。現時点で、活発な取引には至っていませんが、高成分需要がある米国内酪農家や中東向けに買付が進んでいます。

灌漑局の発表によると、3月15日時点でのアルファルファの作付面積は146,520エーカーとなっており、前年同期の145,569エーカーから増加しています。



25年産アルファルファ1番刈圃場の様子
(3月下旬撮影)

米国産チモシー

24年産は収穫時の天候に恵まれたことで、低級品の発生が限定的となりなした。多くの顧客は安価な低級品を求めたことで、24年開始時に低級品が先に売れ、その後、中級品、上級品と需要が推移しました。

産地では馬糧および酪農向け需要が堅調なことから、多くの産地在庫はすでに売約済みとなっており、繰り越し在庫が無い状態で25年産を迎える見通しです。作付面積は10～15%増加すると予想されています。

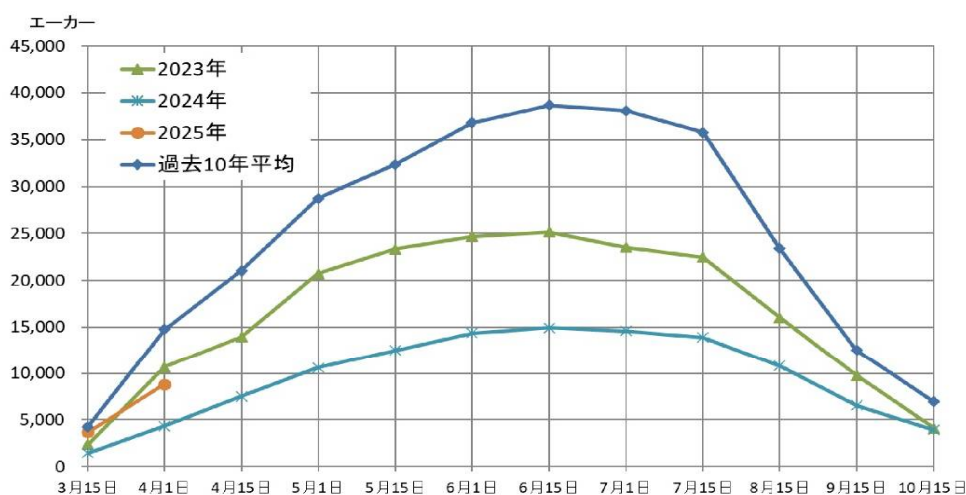
スーダングラス

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、最高気温が27℃～32℃まで上が

った日が続き、播種に適した地温となったため、播種作業が開始されています。

依然として相場低迷が続いており、生産農家の作付け意欲も高くありませんが、一部の輸出業者が保持していた2022年産や2023年産の旧穀在庫を解消しつつあるため、2025年産の作付面積は、2024年産に比べてほぼ同程度か、若干の増加が見込まれています。

灌漑局の発表によると、2025年4月1日時点でのスーダングラスの作付面積は8,838エーカーとなっており、前年同期の4,366エーカーから増加しています。



インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移 (単位：エーカー)

クレイングラス (クレインは全酪連の登録商標です)

灌漑局の発表によると、2025年3月15日時点でのクレイングラスの作付面積は22,843エーカーとなっており、前年同期の21,438エーカーから増加しています。

25年の生産については圃場で水入れが開始されており、1番刈の収穫は4月下旬から本格化する見込みです。

昨年より実施されたDIP(休耕地政策)について、25年でも実施の見通しで、8月1日以降に45日/60日のプログラムに入ると予想されています。

バミューダ

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、2025年産の生産に向けて圃場へ水入れを開始している生産者も見られます。本格的な1番刈の生産は4月中下旬ごろから開始される予定です。灌漑局の発表によると、2025年3月15日時点での作付面積は76,576エーカーとなっており、前年同期の65,715エーカーから増加しています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主に、ストローの作付は種子生産が中心となるため、種苗会社からの需要に応じて調整されますが、主産地であるオレゴン州の2025年産のフェスキューの作付面積は10%減少し、ライグラスは例年並～微増と予想されています。

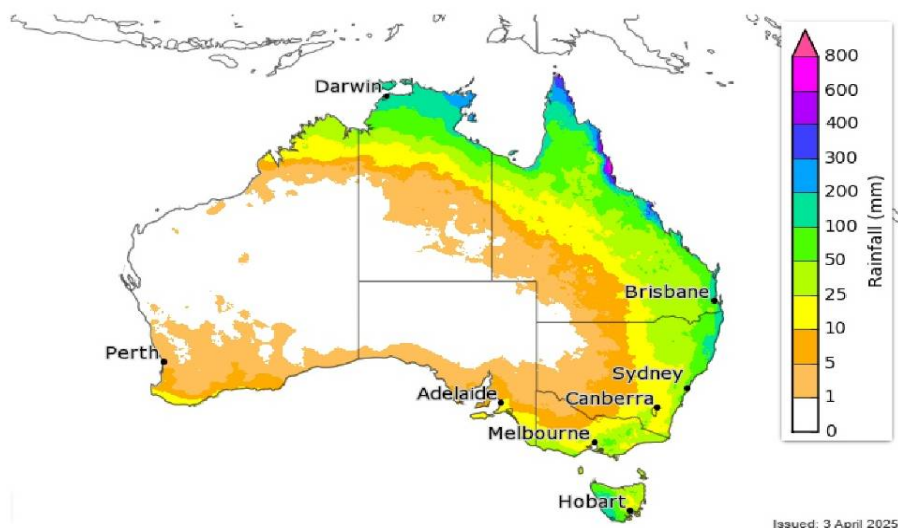
需要については、先月に引き続き韓国向けに堅調に推移しています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区および南部レスブリッジ地区では、最低気温が氷点下を下回る日も続きましたが、4月に入り最高気温が15℃以上になる日も出てきています。日本向け需要に大きな変化はなく、出荷は順調に進んでいます。出荷量に大きな影響はありませんが、米国の関税の影響や、天候による物流面の課題には引き続き注意が必要です。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

豪州では2025年産の播種に向け、輸出業者と生産農家の契約協議が開始されています。2月に引き続き、3月に入っても全豪全体で乾燥した気候が続いており、土壌水分も低下しています。下図は、豪州の気象庁による4月の降水量予測ですが、西豪州や南豪州では10mm以下の少ない降水量になることが予測されています。播種時期に降雨が少ないとその後の生育に影響を与えることから今後の動向を注視する必要があります。



出典：The Australian Bureau of Meteorology より
25年4月の降水量予測

以上